

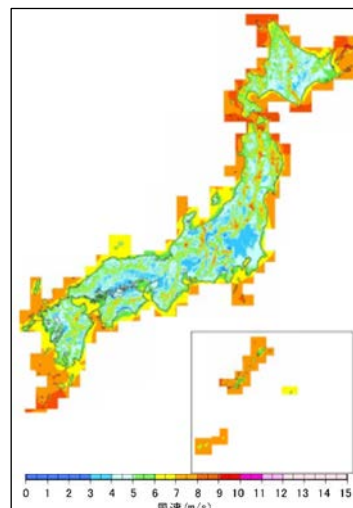
## ●風力発電エネルギー

### 【経緯】

地球温暖化防止・温室効果ガス排出量の削減は政府をあげての課題となっており、再生可能エネルギーの導入と低炭素化社会の実現が求められています。また、東日本大震災を契機に電力の安定供給、非常時の電源確保という面からも、再生可能エネルギー導入への期待は高まっております。

再生可能エネルギーの一つとして注目されている風力発電は、風によりプロペラを回すことで、風力エネルギーを電気エネルギーに変換して利用する発電方法です。

風力発電の適地は、陸上の場合には年平均風速 5.5m/s 以上であることが一つの目安となります。東北地方は風力発電に適した地域と言えます。

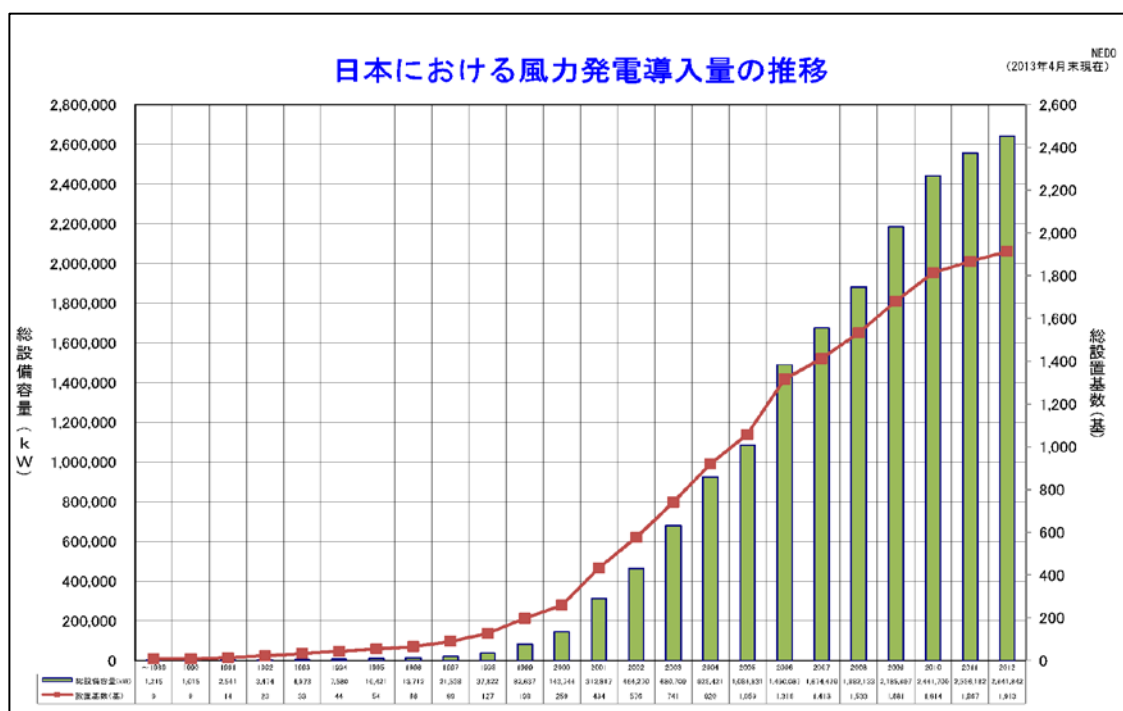


局所風況マップ(地上高 30m)

### 【活動成果・状況】

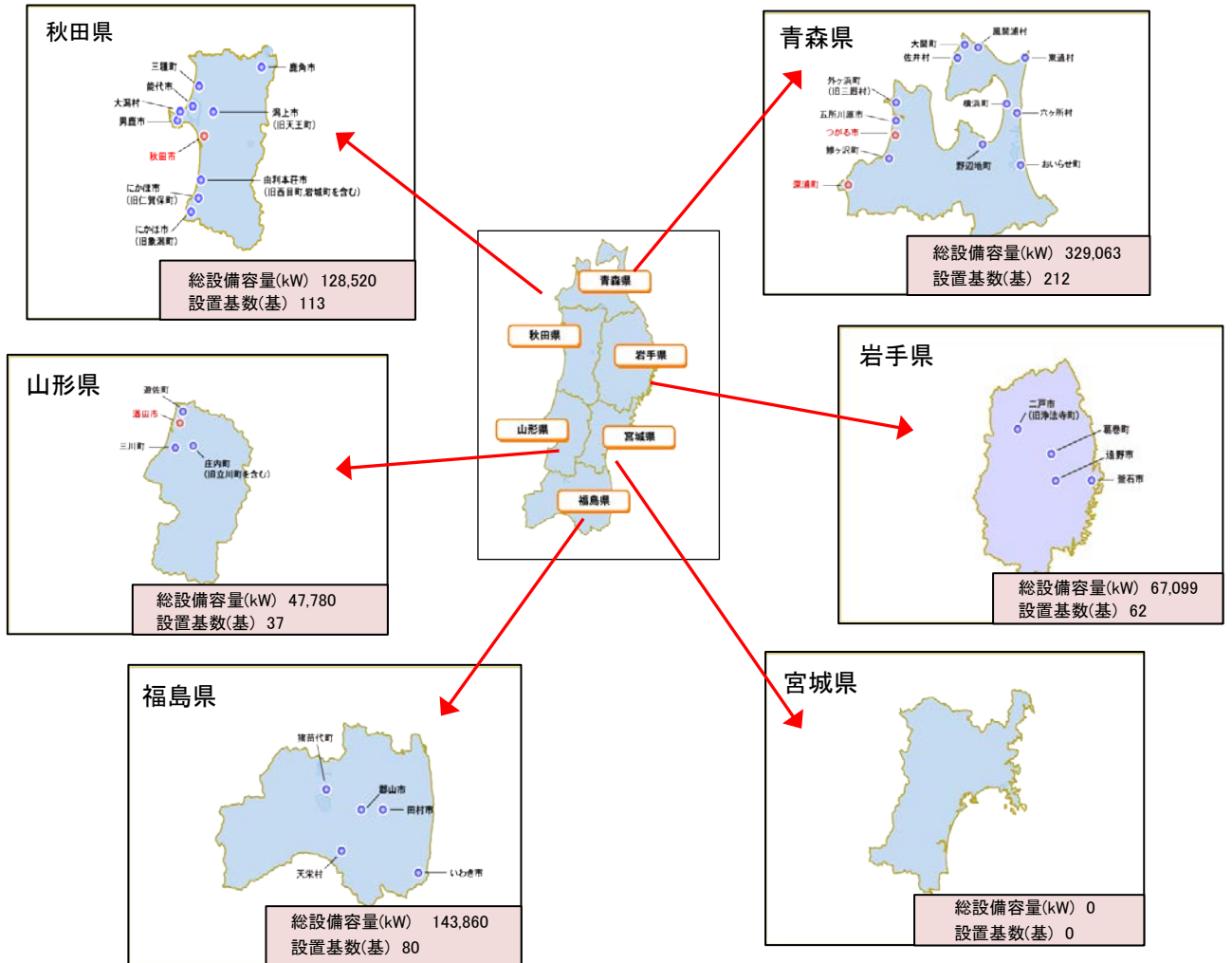
我が国の風力発電の導入量は、2012 年度末に総設備容量 264 万 kW、総設置基数 1,913 基となっています。これまでの累計導入量について設備容量を設置基数で割って見ると、1 基当たりの平均設備容量は増加傾向にあり、風車 1 基あたりの大型化が進んでいることが分かります。

また、陸上の適地が少なくなっている、周辺環境（騒音、景観など）に与える影響が少ない、大規模化できる等の理由により、風況が良い洋上において風力発電を導入するための実証実験が国によって行われています。今後の動向が注目されます。

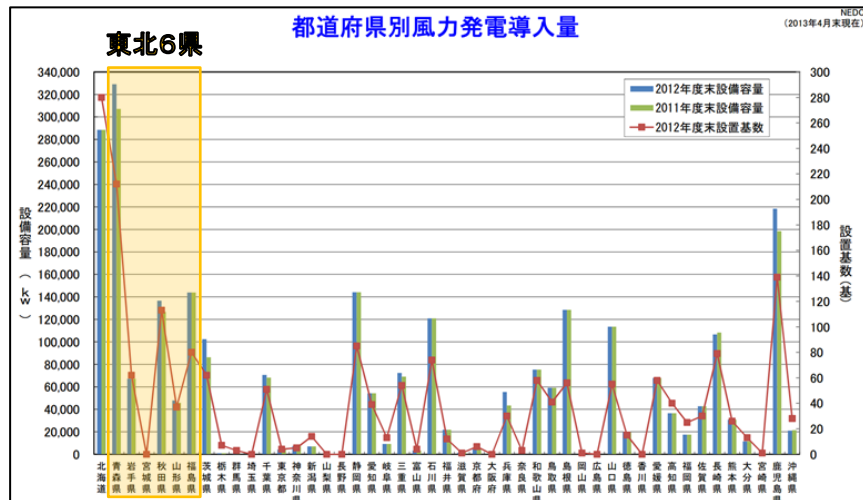


日本における風力発電導入状況

東北地方の風力発電の導入状況は、設備容量(kW)と設置基数(基)を見ると、全国的に見て高い水準にあることがわかります(平成24年度現在)。また、都道府県別で風力発電の導入量を見ると、風況の良い北海道、東北、九州で導入量が多いことがわかります。東北地方を見ると、青森県の導入量が全国で1位です。



東北6県の風力発電導入地点分布



東北6県の風力発電導入地点分布

新エネルギー・産業技術総合開発機構 HP <http://www.nedo.go.jp/>

(風力発電導入ガイドブック、日本における風力発電設備・導入実績資料集より)